

2022/6/4

## プルタブ収集活動

プルタブ収集活動は永遠に続きます。

岡本 勇

プルタブ収集活動は自宅から出た分、他人から頂くこの2つの方法で収集しています。自分の家で収集出来る量には限度があります。他の人に、協力お願いして収集しなければ、沢山の量の収集は出来ません。私がやっているのは、「声かけ」です。何か参加の呼びかけがありましたら、そこに参加された方に「洋友会」がプルタブを収集して「車椅子」を施設に贈呈しておりますと説明して、御協力をお願い致します。その時「贈呈式の写真」とかあれば効果的です。

①御協力をお願いした方で「公民館」に顔の効く方がおられ公民館で集められたアルミ缶を私の自宅迄運んで頂きプルタブ収集後又公民館にお返し致します。その量が大きな布袋6袋有り1袋のプルタブ収集に2.5時間かかります。延べ15時間かかります。それはアルミ缶を潰して返却するからです。（2ヶ月1回）



※この収集活動で集めたプルタブの量は800gでした。プルタブ収集活動が如何に大変かお分かりだと思います。

②知人、親戚は勿論ありとあらゆる所に網をはっております。プルタブ収集活動は甘いものではありません。この間は熊本に「車椅子」を贈呈致しましたが、下記の写真の様なプルタブ収集ケースを作り近くの「公民館」に置いて貰っております。



今3ヶ所において貰ってますが、後2ヶ所は置いて貰おうと考えております。

長崎に兄がおりますが、1600gのプルタブを郵送してくれました。兄弟とは有り難いものです。それだけプルタブ収集活動には沢山の人が関わっているのです。

※それだけに「車椅子贈呈」については慎重にお願いしたいものです。